

5-2 支部助成審査検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 支部助成審査検討WGの開催

令和7年6月にメール審議によるWGを開催し、各支部から出された助成申請を審査した。

(2) 活動の目的

本WGの目的は、支部助成金審査ガイドラインに沿って、各支部申請活動の目的を審査し、交付する助成金を整理し、常任委員会（中期行動計画関連）へ提案することである。申請に対する採択の判断規準は、「ガイドライン」に従い以下を基本とする。

- a) 建設コンサルタントが行う社会貢献活動としてふさわしいもの
- b) 一般市民等を対象とした活動を通じ、建設コンサルタントの存在意義、社会資本整備の必要性、まちづくり、地域づくりのあり方などへの理解を深め、戦略的広報活動につながるもの
- c) 公共事業の透明性、アカウンタビリティ、品質確保のあり方などについて発注者に働きかける活動
- d) 事業への参画

(3) 令和7年度の活動

支部から申請された活動予定案件に対して、支部助成金の趣旨に沿うか否かをWGで審査した結果、今年度の申請案件は基本的にすべて採択した。最終的に別表のように32件が実施され、実施案件の助成金の実績総額は26,900千円であった。それぞれの活動は協会の活動方針に即しており、有効なものであると判断した。

なお、助成対象となる活動については、協会会員を対象とした支援を意図した活動は対象としていない。申請事案において、会員、非会員双方を対象とした企画における助成金の取り扱いについては、今後の検討課題である。

2. 次年度の活動について

次年度も予算枠は27,000千円を基本とし、「ガ

イドライン」に基づき募集・審査を行う予定である。本助成金は中期行動計画の支部での実践活動を助成するものであるが、各支部は工夫を凝らした多彩な活動を展開していると考える。

令和7年度 支部助成金支給実績

支部	活動名	助成額 (千円)
北海道	① 大学・高専生への広報活動の継続	300
	② 出前講座の継続	2,500
	③ 小学生対象の体験・見学会・コンテスト実施	200
東北	① 高校生「橋梁模型」作成発表会	300
	② 支部「講演会」の開催	1,600
	③ 技術系学生に対しての業界説明会の開催	600
	④ 「JCCA TOHOKU」発行	100
	⑤ 「若手の会」交流会	400
関東	① 「グローバル関東」発行	2,000
	② 学生への広報活動	800
	③ 出前講座	200
北陸	① 北陸支部広報誌「雪の音」の発行	1,350
	② 出前講座等で配布するPR冊子等	1,480
	③ ボランティア活動への参画	170
中部	① 中部の広報活動の推進(コンサルタントフェア)	1,000
	② 中部の広報活動の推進(広報誌)	1,500
	③ 業務技術発表会の開催	300
	④ 地域への貢献活動	200
近畿	① 広報誌「クリエイトきんき」の発行	2,000
	② 近畿の社会資産共有活動	300
	③ 建設コンサルタントの魅力発信広報活動	700
中国	① 生産性向上や業界認知向上の活動等	500
	② 防災教育等に関する活動への参画	1,200
	③ まちづくり、アイデア集等での発信	1,200
四国	① 広報誌「JCCAしこく」の発行	1,100
	② 支部若手の会の活動支援	600
	③ 学校教育・生涯学習への支援活動等	1,300
九州	① 大学生への広報活動	250
	② 九州建設技術フォーラムへの参加	300
	③ 九州大学との連携の人材育成講座	300
	④ 地域の夢・アイデア募集事業	850
	⑤ 地域の夢・アイデア交流事業	1,300
合 計 (32 件)		26,900

(支部助成審査検討WG WG長 野見山 尚志)